

2021年7月30日
東日本旅客鉄道株式会社

「JR東日本グループレポート 2021 (INTEGRATED REPORT)」の発行について

- ◇ JR東日本は、このたび「JR東日本グループレポート 2021 (INTEGRATED REPORT)」を発行します。
- ◇ JR東日本では2020年度より「統合報告書」として同レポートを発行し、多様なステークホルダーに向けたワンストップの情報発信に取り組んでいます。
- ◇ グループ経営ビジョン「変革 2027」および「変革のスピードアップ」で掲げる成長戦略のほか、2020年度の事業活動に関する財務情報やESGの取組み等を記載しています。

1 主な内容

○表紙

“つぎの豊かさを生み出すまち”をビジョンとして掲げ、2020年10月24日にまちびらきした「WATERS takeshiba」。まちびらきに合わせ、無料で循環する燃料電池バス「JR竹芝 水素シャトルバス」を運行しています。

○JR東日本グループの価値創造

- ・ JR東日本グループの「価値創造の歴史」「強み」「強み」をベースにしたビジネスモデル」を掲載し、経営戦略に至るストーリー性を重視した構成にしています。

○経営戦略（成長戦略の解説）

- ・ トップメッセージに加え、「変革 2027」および「変革のスピードアップ」の概要を掲載しています。
- ・ ステークホルダーの皆さまに特にお伝えしたいこととして、オフピークポイントサービスや Beyond Stations 構想等「新しい暮らしの提案」と「サービス品質改革ビジョン 2027」を活動ハイライトとして取り上げています。

○サステナビリティの取組み

- ・ 「安全」「社会」「環境」の3セクションに分け、当社グループの具体的なサステナビリティの取組みを掲載しています。
- ・ 環境セクション掲載のTCFD（気候関連財務情報開示タスクフォース）提言への取組みでは、自然災害により生じる物理的リスクの試算として、荒川の氾濫シナリオに基づく財務的影響額の定量評価を実施し、開示しています。



JR東日本グループレポート

INTEGRATED REPORT
2021

○コーポレート・ガバナンス

- ・「社外取締役・社外監査役メッセージ」「役員略歴」「経営に関する透明性確保に向けた取締役会の実効性確保」「役員報酬・業績連動報酬に係る指標」「内部統制の考え方」等について掲載しています。
- ・今年度は内容をより充実させるため、社外監査役のメッセージや役員略歴を掲載しています。

○データセクション

- ・JR東日本グループの事業概況・財務諸表等の財務データ等、各種データを掲載しています。

2 発行媒体

- ・JR東日本ホームページでご覧いただけます。[\(http://www.jreast.co.jp/eco/pdf/\)](http://www.jreast.co.jp/eco/pdf/)
- ・冊子版をご希望の方は、(有)インフォワードの運営する「エコほっとライン」(無料)からお申し込みください。なお、冊子版のご請求受付は8月下旬頃から開始する予定です。
(エコほっとライン <https://www.ecohotline.com/>)